【専門医派遣１１】

令和６年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書

学校名　　長崎市立野母崎中学校

実施日	令和　7年　2月　20日　（　木　）			
場　所	本校　3年1組教室			
講　師	医療法人恵仁会 いまむらウィミングクリニック　今村　健仁　氏　（ 産婦人科医 ）			
形　態	（・講話）・職員研修　・その他（　　）			
参加者	生徒 （　3　）学年 （　17　）人	学校職員 （　5　）人	保護者 （　　）人	その他 （　　） （　　）人
テーマと内　容	テーマ【　思春期と性について　】 内容（具体的に） ・男女の違いと二次性徴について ・生理（月経）がどういうものか、月経痛とその対処について ・性交渉とは ・妊娠とは（緊急避妊法について） ・予期せぬ性交渉の結果（１０代の実症例に基づいて） ・HPV ワクチンについて			

＜当日の様子＞

＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞

・月経：受診の目安、困ったことがあったら気軽に産婦人科を受診するようにとの話があった。

・妊娠：射精を経験した男性と月経が始まっている女性では、誰でも妊娠する可能性があり、妊娠を望まない時には、避妊をする。避妊は男性がしてくれると思わず、女性も自分の身は自分で守るようにする。１０代での妊娠は予期せぬことが多く、緊急時は保護者や学校の先生、場合によっては警察に相談し、産婦人科の受診も検討する。実際の実症例を用いて話してくださったので、生徒たちも自分事して考えることができた。

・出産：痛みの程度や出血の量を具体的に教えていただいた。生徒の想像よりも出産の瞬間は過酷で、女性の偉大さを実感し、「女性のことを思って行動しようと思った」といった感想がみられた。

・現在はいつでもネットで情報を得られる時代だからこそ、正しい知識を理解し、適切な行動をとってほしいといったことや、些細なことでも気軽に産婦人科を利用してほしいといったお話があった。

【専門医派遣１２】

令和６年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書

学校名　　長崎市立外海中学校

実施日	令和　7年　2月　26日（ 水 ）			
場　所	外海中学校　3年A組教室（2階）			
講　師	医療法人社団　レディースクリニック ICHIRO　　森　　一朗 氏　（ 産婦人科医 ）			
形　態	（・講話）　・職員研修　　・その他（　　）			
参加者	生徒 （　　3　　）学年 （　　7　　）人	学校職員 （　4　）人	保護者 （　0　）人	その他 （　　） （　　0　　）人
テーマと内　容	テーマ【 性についての講話 】 内容（具体的に） ・ 性感染症の理解と予防 ・ 妊娠、出産について ・ 性に関わる危険（リスク）の回避、子宮頸がんワクチンについて ・ 生まれる命のすばらしさ			

＜当日の様子＞

＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞

講話の中で終始一貫して生徒へ伝えていただいたメッセージは、「一人一人が途方もない確率の中から生まれた、たった一つの大切な命だ」ということでした。
その命を大事に生きてほしい、そのための「性」にかかわる貴重な話をしていただきました。
「性感染症の理解と予防」では、性感染症が怖さや予防のための具体的な方策を、
「妊娠と出産」では、女性に起こる体の様子やその大変さを知ることを、
「性に関わるリスクの回避やＨＰＶワクチンについて」では、緊急避妊の現状や望まない妊娠を避けるための具体的な方策を、
「産まれる命のすばらしさ」では、自分を含め、一人一人の命の大切さを改めて確認する機会となりました。学んだことを今後生徒自身の生き方や、家族やパートナーを思う気持ちに大きな影響を与えるものと思います。

【専門医派遣13】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書

学校名　長崎県立西陵高等学校

実施日	令和 6年　7月　18日（木）			
場　所	長崎県立西陵高等学校　大会議室、各教室			
講　師	医療法人まごころ会　たらみエンゼルレディースクリニック 陣林 伯豪 氏 （産婦人科医 ）			
形　態	（講話）・職員研修　・その他（　　）			
参加者	生徒 （　全　）学年 （　647　）人	学校職員 （　0　）人	保護者 （　0　）人	その他 （　　） （　0　）人
テーマと内　容	テーマ【　思春期の心と体　】 内容（具体的に） 全校生徒を収容できる場所が工事中のため、大会議室に全校保健委員35名、その他の生徒は各教室でリモートによる視聴を実施。大会議室にてパワーポイントをスクリーンに映しながら、体のしくみ、妊娠と出産、10代の妊娠と人工妊娠中絶、性感染症、子宮頸がんとHPVワクチンについて、わかりやすい例えなどを交えながらの講話であった。また講話後に、胎盤を見たり触れたりする機会があり、生徒からの質問に答えていただきながら、貴重な学びの時間を過ごすことができた。			

＜当日の様子＞

＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞

月経を含め、性に関することは産婦人科にも相談できることや、子宮頸がんを予防するためのHPVワクチンの接種が可能であることを覚えておいてほしいとのことであった。

生徒からの感想には、責任を取ることができる年齢まで安易な気持ちで性行為をしないことや、パートナーと話し合うことの大切さ、性感染症に罹患しないよう避妊する、HPVワクチン接種について保護者と相談したい、などがあり、自分のこととして捉えることができていた。

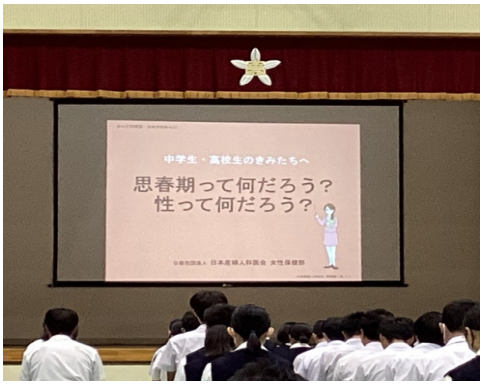
【専門医派遣１４】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書

学校名　　県立希望が丘高等特別支援学校

実施日	令和　6年　10月　17 日（木）			
場　所	本校体育館			
講　師	医療法人松角会　マムレディースクリニック　宮﨑　正浩　氏　（産婦人科医　）			
形　態	（講話）・職員研修　・その他（　　）			
参加者	生徒 （　　全　　）学年 （　　71　　）人	学校職員 （ 15 ）人	保護者 （　0 ）人	その他 （　　） （　　0　　）人
テーマと内　容	テーマ【　　思春期って何だろう　　】 内容（具体的に） 〇女の子と男の子の体の変化 ・どのように体は変化していくのか　・月経のしくみ 〇多様な性　・LGBTQ とは 〇妊娠と出産 ・妊娠の仕組み　・妊娠から出産までのながれ 〇高校生のあなたたちにつたえたいこと ・望まない妊娠をしないためにできること　・性感染症の主な症状 ・子宮頸がん予防ワクチンの接種について　・人工妊娠中絶について ・デート DV について			

＜当日の様子＞



＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞

・避妊の方法について分かった。
・性感染症の種類や対策について知った。
・妊娠期間を知ることができた。
・妊娠の方法や子供を育てるために必要なお金を知ることができた。
・人工妊娠中絶の方法を知ることができた。
・しっかり育てられる年齢まで性行為をしない。

等の感想の記入がみられた。講話の内容の理解度に差はみられるが、どの生徒も講話内容についてきちんと考え、感じたことを感想として記入することができた。

【専門医派遣15】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書

学校名　長崎県立諫早高等学校附属中学校

実施日	令和　6年　12月　6日(金)			
場　所	諫早高校第一体育館			
講　師	医療法人　安永産婦人科医院　　宮下　昌子　氏　（産婦人科医）			
形　態	(・講話)　・職員研修　　・その他（　　）			
参加者	生徒 （　1～3　）学年 （　329　）人	学校職員 （　18　）人	保護者 （　0　）人	その他 （長崎県教育委員会1名　） （　1　）人
テーマと内　容	テーマ【　性・命のバトン～生まれる命・消える命～　】 内容(具体的に) 〇元気な赤ちゃんがうまれるってあたりまえ？ ・妊娠の仕組　　・不妊について　　・流産・死産について 〇予期しない妊娠について ・当事者の選択肢　・実際にあった事例　・避妊の方法 〇性感染症について ・性感染症の種類や症状　・性感染症の予防 〇子宮頸がんの予防について			

＜当日の様子＞

＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞

不妊、流産や予期しない妊娠からの中絶など、「生まれてくる命」もあれば、「消える命」もあるということから、自分たちが元気に生まれて生活できているということは「奇跡」であるということをお話していただいた。また、出産の動画を見たり、講師の先生の病院で実際にあった事例などを聞いたりすることにより、「親に感謝しようと思った。」「自分のことをもっと好きになろうと思った。」など、自分や家族を大事に思う気持ちがより高まった生徒が多かった。

【専門医派遣16】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書

学校名　　諫早市立有喜中学校

実施日	令和　6年　7月　12日(金)			
場　所	有喜中学校3年教室			
講　師	医療法人和光会 出口医院レディースクリニック　出口　晴彦　氏　(　産婦人科医　)			
形　態	(講話)　・職員研修　・その他(　　)			
参加者	生徒 (　3　) 学年 (　25　) 人	学校職員 (　2　)人	保護者 (　0　)人	その他 (　　) (　0　)人
テーマと内　容	テーマ【 生命の尊さー産科臨床・性感染症ー 】 内容(具体的に) ・思春期に起きてくる男女の身体と心の変化(月経・射精の仕組み等) ・多様な性(LGBT、セクシュアリティーマップ等) ・妊娠と出産(妊娠の仕組み、胎児の発育、10代の妊娠と人工妊娠中絶、避妊方法等) ・性感染症(性感染症の種類、症状、感染者数、予防方法等)			

＜当日の様子＞

＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞

講話の中で、月経等で困っていることがあれば病院を受診すること、男女交際においてお互いの心を生かした付き合い方をすること、子宮頸がんのワクチン等についてご助言いただいた。

生徒の感想から、これらが特に印象に残っている様子であった。

行動変容は具体的には見られていないが、今回の講話でご指導いただいた内容について、機会をみながら、継続的に指導していきたい。

【専門医派遣17】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書

学校名　諫早市立森山中学校

実施日	令和　6年　9月　19日（木）			
場　所	森山中学校　音楽室			
講　師	立石産婦人科医院　小無田　明美　氏　（産婦人科医）			
形　態	・講話　・職員研修　・その他（　　）			
参加者	生徒 （　3　）学年 （　43　）人	学校職員 （　3　）人	保護者 （　5　）人	その他 （　　） （　0　）人
テーマと内　容	テーマ【思春期の性について(産婦人科医だから話せる性をめぐる問題)】 内容（具体的に） ・思春期に起こる体の悩み ・避妊の仕方(コンドーム・低用量ピル)、緊急避妊ピル ・思春期の心(反抗期)、自殺、不登校 ・性の多様性、LGBTQ ・生命の誕生			

＜当日の様子＞

＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞

講師からは、産婦人科医から専門的な立場で、性に関する知識を、幅広くかつ重要点を確実に教えてもらい、生徒や保護者、教員ともにとても有意義な時間となった。男女ともに、避妊の正しい知識や妊娠した時の手立てを早い段階で知っておくことやNOと言う勇気を持ち、自分や相手の心身を大切にすることを考え、行動することの大切さを教えていただいた。生徒自身も自分と同じ年齢での妊娠や人工妊娠中絶、自殺などの現状を目の当たりにし、より真剣に話を聞く姿があり、今回の話を忘れずに生活していきたいという意志を振り返りとして書いている生徒も多くいた。今回は、保護者の参加と講話後の質疑応答の時間（保護者のみ）を設け、日ごろ聞けない悩みやニュースで心配なことなどを話し、保護者の不安も解消できる貴重な時間となった

。

【専門医派遣18】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書

学校名　諫早市立小長井中学校

実施日	令和 6年　10月　31日（木）			
場　所	小長井中学校　1年教室			
講　師	立石産婦人科医院　小無田 明美　氏　（産婦人科医）			
形　態	(・講話)　・職員研修　・その他（　　）			
参加者	生徒 （　1　）学年 （　22　）人	学校職員 （　3　）人	保護者 （　0　）人	その他 （　　） （　0　）人
テーマと内　容	テーマ【　思春期の性・生命の誕生　】 内容（具体的に） ・思春期のからだの発達について ・10代の妊娠・出産、人口中絶について ・性感染症について ・思春期のメンタルコントロール ・LGBTQについて ・生命の誕生について			

＜当日の様子＞

＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞

・思春期のからだにとってダイエットはNG！適切にエネルギーを摂ることが大事。
・思春期はからだが急激に変化していくが、心が変化についていけない。自分で自分が分からない時期なので、周りの大人を頼ってバランスを取りながら過ごしてほしい。
・人類は40億年前から繋がっている命。10代の自殺が年々増加しているが、自分を大切にしてほしい。
・自分で選択をして（NOも！）悔いのないように胸を張って大切に生きてほしい。

【専門医派遣19】

令和6年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書

学校名　県立大村城南高等学校

実施日	令和　6年　10月　24日（木）			
場　所	県立大村城南高等学校　体育館			
講　師	医療法人　大村中央産婦人科　荒木　文明　氏　（産婦人科医）			
形　態	・講話　・職員研修　・その他（　　）			
参加者	生徒 （　1・2・3　）学年 （　327　）人	学校職員 （　50　）人	保護者 （　0　）人	その他 （　　） （　0　）人
テーマと内　容	テーマ【 思春期って何だろう？　性って何だろう？　】 内容（具体的に） 思春期における体の成長を知り、多様な性についても考える。また、妊娠・出産・中絶・避妊・性感染症・子宮頸がんなど、性について様々な知識を学ぶことで命の尊さを学ぶ。			

＜当日の様子＞

＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞

先生の講話の中に出てきた「責任を持つ」という言葉が生徒には深く届いたようで、生徒の感想にも「責任を持つ」という言葉が多く出てきました。特に、学年が上がるにつれて自分だけでなくパートナーを思いやる言葉が数多く出ていて、今の生徒たちに大切な講話になったようです。

また、「ＬＧＢＴＱ＋」についても深く考える機会になったようで、多様性について改めて理解を示していました。

【専門医派遣２０】

令和６年度長崎県学校保健専門医派遣事業　報告書

学校名　西海市立大瀬戸中学校

実施日	令和　６　年　１１　月　２０　日（水）			
場　所	3年教室			
講　師	医療法人社団　レディースクリニックICHIRO　森　一朗　氏　（産婦人科医）			
形　態	（・講話）　・職員研修　・その他（　　）			
参加者	生徒 （　３　）学年 （　２５　）人	学校職員 （　４　）人	保護者 （　０　）人	その他 （　　） （　０　）人
テーマと内　容	テーマ【　思春期のこころとからだ　】 内容（具体的に） ・産婦人科の仕事 ・性感染症の症状と予防方法 ・避妊(コンドームの使用方法・低容量ピル・緊急避妊薬について) ・子宮頸がん、ワクチン接種について ・デートDVについて			

＜当日の様子＞

＜講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等＞

・　性感染症にはどんなものがあるか。性感染症は、うつったことに気付かないから怖い。
　特に女の子にはハンディがある。それを防ぐためにも、性行為をしないことやコンドームを使用することが大事である。

・　すごい確率で産まれてきている。みんな貴重な命であるから、大事に生きて欲しい。

・　デートDVについて、すべての恋愛は、デートDVにつながっていることを理解して欲しい。

・　子宮頸がんワクチン接種について、いろいろと報道があるが、副作用の出方等は、他のワクチンともかわらない。子宮頸がんワクチンは、抗体がしっかりつくので、9割予防ができる。まだ打っていない人は、おうちの方と相談して、接種してもらいたい。